

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園番号 2100410

園名 五ノ神幼稚園

1. 活動のテーマ

お花を育てて、色水遊びをたのしもう！

<活動の設定理由>

砂場遊びが人気で、泥団子やケーキを作り、葉っぱ等を飾ってパーティーをする時に、ドリンクとして色水を使うことがあります。ある時、色水の用意がない中、子どもたちが桜の花びらを拾い集め、水と一緒にビニールに入れてもみもみして色水を作ろうとしていましたが、変な色の色水しか出来ずモヤモヤしている場面に遭遇。そこでのやり取りを経て、今回のテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

2024年 4月 色水として遊ぶことができる植物を調べ、種まきの準備、及び種まき

5月～ 育ってきた植物の成長を観察、世話

7月後半頃 花が咲き始め、期待膨らむ 暑さでやられないよう 水やりのタイミングを気にしながら世話をする

8月 お花を使って 色水遊びができるようになった！

10月 咲き終わった植物の種を収穫 その後、片付け。

3. 探究活動の実践

2024、4月 春休み

食紅を使った色水遊びを楽しんだ数日後、数人の女の子たちが、桜の花びらを拾い集めてビニール袋に入れ、そこにたっぷりの水を入れて、もみもみもみ……

先生:何をしているの？

こども:お花を絞って色水を作るんだ～

でも、中に入っているのは桜の花びら、揉んでも揉んでも水に色はつかず……

以前、おしろい花で、色水を作った経験から、この方法で出来るはず！！と思っの行動のようだ。色が出やすい花と、そうでない花があることを知り、少しがっかりした表情に……

しかし！！このがっかりを打ち消すうれしい贈り物が届いた！ それは、花の種！！しかも うまいけば色水遊びが楽しめるらしい！！ それはそれは大喜びで、さっそく花の種の仕分けに 入った。



こどもたちが選んだ種は



定番の朝顔



定番のオシロイバナ



アノダ 色水としては期待でき
そうもないが、かわいさで選ば
れました



バタフライピー
これが期待大！！一番楽しみにしている花

以上の4種類

これらのほかに、ミントや しその種もどうかとすすめたけれど、やはり花がきれいな方が
選ばれ今回は、草系は興味なし・・・なので、先生と興味を示した少数派の子で植えてみる
ことに。

さあ、種まき開始！！花壇や、プランターに、種をまく準備に取りかかる。



**せっせと、落ち葉を
片付けるこどもたち①**

せっせと、落ち葉を
片付けるこどもたち②



何日かたって・・・

あつ、
芽が出てきてる！！

ほんとだ～♪
ここにも、ここにも！

その後、何人かの子どもたちに見られた、動きに注目してみた。

「ほかの種もまいて、育ててみたいな」

「先生、なにか種なあい？」

という感じで、植物のお世話に興味を持ち始めてくれた気配が・・・最初興味がなかったハーブ系の物にも興味が出始めた。

『この前の夏にとっておいた、バジルの種ならあるよ』『それって、色水できる？』

『色水は無理かも・・・でもね、PIZZAにのせたら超おいしい！！』『えっ！？じゃあやる！』

というわけで、再び、プランターを用意する。興味があると、どんどん行動する♪



そして土入れをしたのち、野菜の栽培に詳しいバスのおじさんと、種まき



ついでに、ほかの植物にも水やり。毎日の日課となってきた。



夏になりぐんぐんつるが伸びはじめ、つぼみが付き、早く咲かないかと日々観察をし、「バタフライピーが熱中症にならないように…」と水揚げをかせがずに世話をした。一番の目当てのバタフライピーよりもひとあし先に朝顔とオシロイバナの花が咲き、待ちに待った楽しい色水遊びが始まった。少し遅れてバタフライピーも花をつけ、青い色水づくりを楽しむことができた

気づき★咲いているお花じゃなく、咲き終わった花でも色水はできる（むしろ、色が濃い!?)

→咲いているお花は、きれいだねって見てあげよう咲き終わった花を集めて色水に使おう

★お水が多すぎると、薄い色。色をしっかり出すなら、水少な目が、よい！！



← バタフライピーのつるがぐんぐん伸びてきた

【オシロイバナの色水遊び】



布巾を染めてみました。

【バタフライピーの色水遊び】



花が咲きました。すごくきれいな青色



バタフライ
ピーの
種の収穫

その頃、各保育室で育てていたミニトマトが、食べ頃を過ぎてプランターの中で落ちて朽ち始めていたのを子どもたちが発見。もったいないね…そこへ、野菜に詳しいバスのおじさん再び登場。落ちたトマトは、翌年に持ち越せるんだということを教えてもらった。早速、落ちたミニトマトを拾い集めて、大きいプランターを用意し、土の中に埋めて保存してみることにした。



トマトの苗が元気に育つように、大きいプランターを用意。土入れはまかせて！！

トマトの苗をポットに埋め換え



かわいそうなトマト達を無事に救って一安心していたら、なんと、ねずみが土の中からミニトマトをほじくりだして食べられてしまった・・・残っていたミニトマトを取り出して、別の容器に入れ替え、ネットをかけて保存することにした。

いろいろあったが、ひとまず安心。種の収穫もでき、現年中・年少さんが来年度引き継いでくれたらと思う。

4. 振り返り

子どもたちと共に感じ、学び、自発的な行動を促すことで、子どもたちは自ら観察したり、こうしたらいんじゃないなど、意見を交換し、先生に対しても、いろいろな気持ちをつぶやいては行動し、学ぶことも多かったと思います。最初はおぜん立てした部分もあったが、次第に子ども

たちが主体となって進めることができ、楽しい時間を共感できた。ちょっとしたことでも、素通りしないで、興味を示す子が少なくても、本気で行動していればその輪は広がって、みんなが楽しめる環境が出来上がることを改めて学ぶことができた。

おわり